

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	市民会館 管理運営費							
担 当 課 係 名	仙北市民会館 課		-		係	作成者	船山 睦	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱		明日を担う人材育成を育む教育文化のまち					総合計画の ページ
	基本計画		生涯学習の推進と社会教育施設の整備					
	主要施策		社会教育施設の充実					96
予 算 費 目	一般 会計		10 款 教育費		5 項 社会教育費		10 目 市民会館費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度			新規 / 継続の区分			継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等	仙北市民会館条例、仙北市民会館管理規則							
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	一般、小・中学校及び高等学校
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	芸術文化の向上と開かれた会館を目指し、個人及び団体を問わず音楽・芸能等に励まされている方々に呼びかけをして、発表の機会となるよう働きかけてまいりたい。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	施設の管理運営業務を実施する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	利用回数	目標	回	60	60	100	
			実績	回	99	83	105	
			達成度	%	165.0%	138.3%	105.0%	
	成果指標	利用人数	目標	人	10,000	10,000	10,000	
			実績	人	11,606	13,699	11,784	
			達成度	%	116.1%	137.0%	117.8%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				20,598	15,137	14,927	
	人 件 費 (B)		—		23,559	24,213	18,941	
	職 員 数		—		3.00	3.00	2.39	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				44,157	39,350	33,868	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				44,157	39,350	33,868
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		446,030	474,096	322,552
		市民1人当たりのコスト(円)		—		1,385	1,252	1,091

【事務事業の今までの成果】

開館以来、文化の殿堂としての重責を担って、各種行事が開催され、市民が自主的に主催する行事が増加しつつ、そうした中から生保内節全国大会が育ち、毎年参加者が200名を超すまでとなった。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	芸術鑑賞の場を提供できる施設を維持するため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

開設から30年近くが経過し、老朽化に伴い修繕費用を多く必要とするようになってきている。建物の耐震診断も未済の現状にあるが、今後も会館における事業を安定的に実施していくためには計画的に修繕等を進めることが不可欠であるため、教育委員会事務局との協議をしながら進めていきたい。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	老朽化に伴う維持修繕費用の低減と、利用者の安全確保策を計画的に実施しながら、引き続き事業を継続すべきと考えます。

一次評価診断図

